

むすぶ

今回は、知恵を出し、情熱をもって取り組んでいる市町村の読書活動の様子を紹介いたします。今後の活動のヒントにいただければ幸いです。



平成28年度学校図書館活性化支援で訪問した学校図書館21館

児童生徒が読書したくなる環境づくり

きれいで明るい図書館に、ゆったりできる椅子も集中できる勉強スペースもあり、おもしろい本がたくさんあって、わくわくするイベントが行われて…。そんな図書館を目指し、各学校では様々な工夫を凝らしています。

面出し展示で魅力をアピール

古くなった本や文庫本は、背表紙だけでは、手に取ってもらえないこともあります。そこで、表面を見せて絵や副題などで本の内容を伝えることで、新たな魅力を放つことができます。

にかほ市立仁賀保中学校

大潟村立大潟中学校



手作りのゆったりできるスペース

絵本のコーナーの前に、職員の家庭で使わなくなった子ども用シートを敷くことで、児童が足を伸ばして本を読めるようになりました。また、不用となった角椅子に柄テープを貼って、手作りクッションを載せると、中学生向けの読書スペースになります。

八郎潟町立八郎潟小学校

能代市立能代南中学校



掲示や小物で親しみやすさを演出

大仙市立内小友小学校

五城目町立五城目小学校

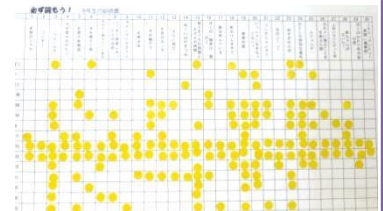


季節に合わせた掲示やぬいぐるみを使って、明るく楽しい雰囲気をつくっています。

本を読ませる仕掛け

学年ごとに「必読図書リスト」に名簿を付けて掲示し、読んだらシールを貼ることで、読書状況を把握しています。また、図書室の貸出個人カードの置き場所を、「かりている人」「かりていない人」で分類し、貸出状況が一目で分かるようにしている学校もあります。

北秋田市立米内沢小学校



三種町立森岳小学校



分かりやすい書架の表示

能代市立第四小学校

十進分類が難しい低学年にも分かるように、書架に動物のサインを付けて、本を探しやすくしています。



学校支援地域本部コーディネーターがつないで 中学校でも読み聞かせがスタート！

読み聞かせは、小さな子どもだけでなく、中学生にとっても、読書するきっかけとなるほか、豊かな感性を磨き、自己肯定感や未来志向、思いやりの心等を育む効果があると言われています。しかし、ボランティアによる定期的な読み聞かせが、小学校で行われているのに比べ、中学校での実施は少ないようです。

五城目町立五城目第一中学校では、学校支援地域本部のコーディネーターに相談して、今年度から、町内の

のボランティア「お話ポシェット」による読み聞かせを始めました。

1月25日(水)、朝読書の時間に、2回目の読み聞かせが行われました。聞いていた3年生は、「読み聞かせをしてもらい、とてもなつかしい気持ちになりました。中学生になってから聞くと、登場人物の気持ちが前より分かる気がします。受験のため、本を読む機会がなかったので、心にゆとりができました」と、感想を述べていました。





平成 28 年度 子供の読書活動優秀実践文部科学大臣表彰 学校・図書館・ボランティア団体の取組



文部科学省は、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において、特色ある優れた実践を行っている学校、図書館及び団体（個人）に対し、その実践を称え表彰しています。今年度、表彰されたそれぞれの取組の中から、特徴的なものを二つずつ紹介します。



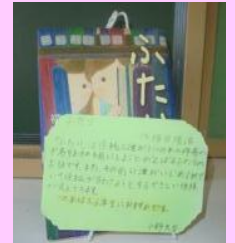
羽後町立西馬音内小学校

【読書ホリデー】

毎週末、親子で本を読む時間を確保するために設定しています。本の題名や読書時間をカードに記録することにより、親子が本を通してふれあう場面が増え、読書への関心・意欲も高まりました。

【子ども司書の活用】

町立図書館主催の子ども司書講座を受講した児童の意見・提案を生かして、図書委員会の活動が行われています。本のあらすじやおすすめポイントのカードを添えて本の展示を行っています。



能代市立能代南中学校

【NIE教育の充実】

朝読書の時間に「NIEタイム」を位置付けています。図書委員が選定した記事を読んで紙上討論を行ったり、各教科の授業で生かせる記事を取り上げたりすることで、理解を深め視野を広げています。

【学校司書の配置】

開校時から、学校司書が常駐（毎日9時～14時）しているので、生徒たちはいつでも図書館利用ができるほか、授業での活用や図書委員会の活動、図書館環境の整備等が充実しています。



秋田県立能代支援学校

【校内読書感想文コンクール】

毎年、読書感想文を募集し、全校集会で入賞者と参加者を表彰しています。また、これらの作品から全国青少年読書感想文コンクールに応募するなど、様々な読書コンクールに積極的に参加しています。

【読み聞かせの授業】

高等部福祉科では、絵本やペープサートを使った「おはなしタイム」を実施しています。選書から道具作り、実演までこなす先輩たちの熱意のおかげで、小学部の児童たちは物語の世界を楽しんでいます。



小坂町立小坂図書館

【読書WEEK スタンプラリー】

読書週間に、リストアップされた本を小坂図書館や学校図書館から借りると、ポイントが付いてしおりがもらえます。本によって、ポイントが異なり、子どもたちの読書意欲を喚起しています。

【出張図書館】

2つの地区公民館と身体障害者施設に、毎月1回80～100冊の図書資料を置いて、ミニ図書館を開設しています。「身近なところで本を手にとれるようになった」と、地域の方々に喜ばれています。



おはなしたんぽぽの会（由利本荘市）

【おはなし劇場】

中央図書館で、隔月第2土曜日、絵本の読み聞かせ、素話、ミニ人形劇、エプロンシアター、パネルシアターなどと一緒に、工作・折り紙なども加え、バラエティー豊かなプログラムで実施しています。

【「人形劇を創ろう」の講座】

講師を招いて、人形と大道具・小道具作り、音響・照明の操作、人形の演技等の研修を重ねた結果、本格的な人形劇を演じられるようになりました。「三枚のお札」など、レパートリーは10作品あります。



本買えば表紙が匂う雪の暮

大野林火

秋田県教育庁生涯学習課
社会教育・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>